

DECISION

Protest

Request No.: 05

Heard Jointly With Number(s): 06

Event: 城ヶ島 Cup 2023 Race Number: 4
Hearing Schedule: 2023-10-29 16:10

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 05: 国際スナイプ級 - JPN 31308 - 西尾 拓大

国際スナイプ級 - JPN 31868 - 黒田 研一郎

Request No.: 06: 国際スナイプ級 - snipe - JPN 31868 - Kenichiro Kuroda

国際スナイプ級 - JPN 31308 - 西尾 拓大

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Protest hailed

Red Flag Displayed: Not required

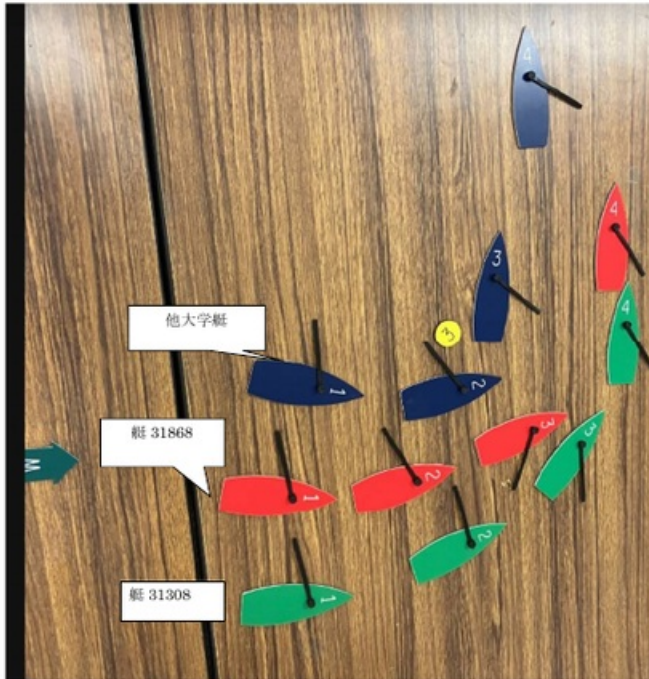
Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

審問番号05は、審問番号06と同じインシデントであったため、両審問はRRS 63.2 に従って審問番号5として同時に行った。
審問に先立ち、調停を行なったが不成立となった。

FACTS FOUND

- ・風速8m/s、波高1~2m
- ・九州大学艇と艇31308と艇31868の3艇は、スターボードタックのランニングで最終第3マークに向かって帆走していた。
- ・3艇はオーバーラップしてゾーンに入った。
- ・31308が外側、31868は中央、九州大学艇が内側で帆走をしていた。
- ・九州大学艇が先行して最初にジャイブを行い、続いて艇31868がにジャイブを行い、艇31308は引き続きジャイブを行い、3艇はオーバーラップした状態でマーク回航動作に入った。
- ・ジャイブを行った時、九州大学艇が内側におり、艇31868とマークとの距離は約1艇身であった。
- ・艇31868と艇31308はマーク回航のためにラフィングを行い、艇31868が先行し、艇31308が風下にオーバーラップした状態でフィニッシュへのコースに向かった。
- ・回航直後に、艇31868の右舷後部と艇31308の左舷船首が接触した。
- ・艇31308はゲルコートの傷(30mmx3mm)、艇31868はゲルコートの傷(10mmX3mm)と軽微な傷はあったが損傷とはいえず、以後の帆走にも影響は無かった。
- ・両艇は共にペナルティーを履行せず、そのまま帆走を続けた。



Case5 6 1.pdf 253 KB

Diagram: Endorsed by Protest Committee

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 11、43.1(c)

風上艇31868は風下艇31308を避けていなかった。規則11に違反した。

両艇は接触を回避しなかったので規則14に違反したが、損傷も傷害も生じなかったため、航路権艇31308の規則14違反は免罪される。

DECISION

艇31868を第4レースにおいて失格とする。

Date & Time: 2023-10-29 17:20 JST

PROTEST COMMITTEE

Committee Type Protest Committee

Chaired By: Yunta Takano (JPN)

Committee Members: Norihisa Takaki (JPN), Masanori Toyohara (JPN), Kunimasa Shinpei (JPN)